

会計名 一般会計			文化芸術団体育成事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	1					担当係	文化振興係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援し、文化創造活動の活性化を図る。			主たる内容	○刈谷文化協会の事業及び運営に対する補助 ○刈谷音楽協会の事業に対する補助 ○わたしの刈谷展入賞者へ表彰			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令						
		対象者	刈谷文化協会、刈谷音楽協会		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助 第14回刈谷音楽祭 第12回刈谷音楽協会演奏会 ・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助 第15回刈谷音楽祭 第13回刈谷音楽協会演奏会 ・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与	
成果		刈谷文化協会が主催する市民文化祭や刈谷音楽協会が主催する音楽祭等を支援したことにより、多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。							
課題		高齢化に伴う会員数の減少が顕著な団体もあり、新規会員の確保が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合（％）			44.9	—	47.8	50.4	53
指標									
他市との比較検証		文化協会については、近隣市においてほぼ同額の補助額である。 また、音楽協会については、近隣で音楽家の協会があるのは、岡崎市と安城市のみである。岡崎市では文化協会に所属しており、市が文化協会の活動を支援しており、安城市では活動に対する補助はしていない。							
C 事業コスト		単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①	0	0	2,869	2,950	合計 2,869,315 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 200,000 円		
		一般財源	0	0	2,869	2,950	負担金、補助及び交付金 2,669,315 円		
		職員人件費 ②	0	0	1,312	1,316			
		総事業費（①+②）	0	0	4,181	4,266			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化芸術団体育成事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	刈谷文化協会は、文化振興指導員が事務局を務めており、事業運営や経理など適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民が文化芸術に触れる機会を提供する刈谷文化協会及び刈谷音楽協会を支援することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民が文化芸術に触れる機会を提供することで、本市の文化振興に寄与することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要であるため、引き続き支援を継続する。					

会計名 一般会計			歴史博物館建設事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	15					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	歴史、考古、民俗等に関する資料を収集し、貴重な文化的遺産の散逸を防ぎ、後世に残すとともに広く一般公開し、歴史研究の一助とする。			主たる内容	本市の歴史資料や文化財を適切に保存・管理し、展示・活用することができるよう歴史博物館を整備する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	博物館法、公文書館法、文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成22年度～平成30年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
BDO 事業実績 計画V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
	・建設工事 ・工事監理		・建設工事 ・工事監理 ・展示・収蔵庫設置		・建設工事 ・工事監理 ・展示・収蔵庫設置 ・植栽工事 ・外構工事		—		
	成果	・建設工事（建築・電気・管）が完了し、建物を竣工することができた。 ・展示・収蔵庫設置業務（展示室壁付ケースや収蔵庫什器の設置）が完了した。 ・有識者、関係団体へのヒアリングを適宜実施し、意見を反映することができた。 ・施工業者、工事監理業者、市担当者による定例会議を隔週で実施し、施工状況を確認しながら施工することができた。 文化庁や関係団体等へのヒアリング結果を反映させるための庁内の意思決定や施工業者への周知に時間を要した。							
	課題								
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	成果指標	建設工事進捗率（％）			1.9	70.0	100.0	—	—
	活動指標								
他市との比較検証	・県内の公開承認施設 7館 ・県内の登録博物館数 33館								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		55,682	1,356,538	2,012,823	0	合計 2,012,823,037 円		
	財源	特定財源	45,041	1,259,003	1,509,851	0	委託料 254,134,800 円		
		一般財源	10,641	97,535	502,972	0	工事請負費 1,758,688,237 円		
	職員人件費②		1,329	8,142	540	0			
	総事業費（①+②）		57,011	1,364,680	2,013,363	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		3,425,043		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		3,425,043		社会資本整備総合交付金 亀城公園等整備基金繰入金 繰越金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			歴史博物館建設事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	15			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	現在の郷土資料館は文化財の保存・展示施設としては規模・設備的に不十分であり建設の必要がある。ミュージアム機能、祭り伝承機能、アーカイブズ機能、埋蔵文化財保存活用機能を一体にした施設とすることで、資料保存と市内外への公開を両立させることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	建物実施設計・展示実施設計は、競争入札で設計業者を選定することで、コストを節減しつつ最適な業者を選定することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民の財産である文化財を多数保存する施設であることから、市が主体となるべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民が気軽に立ち寄れる歴史博物館を建設することで、郷土の歴史文化への興味を喚起することができる。また、公開承認施設を目指すことで、国宝や重要文化財を見学出来る機会を増やし、市民の歴史に対する関心に応えることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
建物が5月末に竣工し、主要な展示ケース・収蔵庫什器も設置し、平成31年3月24日にオープンすることができた（建設事業としては終了）。 設計段階で利便性・機能性・コストに配慮した建物を目指したが、今後は実際の運用の中でもそれらを実現していくことに努める。 また、市民にとって魅力ある博物館とするため、刈谷の歴史を分かりやすく伝える企画展や、地域の歴史を楽しく学ぶことができる体験イベントなどを継続的に実施していく。					

会計名 一般会計			常設展示品等製作設置事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	14					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	歴史・文化財						
			施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的		歴史博物館において常設展示室及び祭り展示室を整備することにより、刈谷市の歴史を体系的に学び、郷土の歴史に親しみと誇りが感じられる場を市民に提供する。			主たる内容		常設展示室（導入展示、テーマ展示、通史展示、体験展示）及び祭り展示室内の展示を整備する。		
	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
	根拠法令		博物館法、公文書館法、文化財保護法							
	対象者		対象者を限定せず			事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		—		—		・常設展示室の展示整備 ・祭り展示室の展示整備		—		
成果		・常設展示では、郷土にゆかりのある資料を多く展示するとともに映像や模型を用いて効果的に刈谷の特徴を示すことができた。 ・祭り展示では、各保存会の協力を得て、実物の山車や奴のねりの道具、万燈、雨乞の衣装・道具などを一堂に展示するとともに、万燈を担ぐ体験ができるコーナーの設置や大画面での祭り映像の放映など臨場感ある展示ができた。								
課題		刈谷の特徴を示すため常設展示を3つの時代のテーマに絞った反面、それら以外の時代の説明が通史展示の年表や映像に限られた。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		常設展示室及び祭り展示室入室者数（人）			—	—	14,130	—	—	
活動指標		有識者・関連団体との打合せ（回）			—	—	5	—	—	
他市との比較検証		安城市では、常設展示を通史としながらその中で重点的にテーマを設定して展示している。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	289,134	0	合計		289,134,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		289,134,000 円	
		一般財源	0	0	289,134	0				
	職員人件費 ②		0	0	2,238	0				
	総事業費（①+②）		0	0	291,372	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			常設展示品等製作設置事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	14			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		普通	学校教育や生涯学習の中で、市民がいつでも郷土の歴史や文化を学ぶことができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	競争入札により実績のある専門業者を選定することで、コストを節減しつつ最適な業者を選定することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	常設展示室や祭り展示室は、市民の財産である文化財や地域の誇りの象徴である祭りに関わる品々を多く展示する施設であるため、市が主体となって実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷の歴史を楽しく学び、刈谷の魅力を発信する施設として施策への貢献度は高い。また、歴史を深く学びたい人への対応も可能としており、市民サービスへの効果も上がっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
事業としては本年度で完了であるが、常設展示においては、今後は定期的に資料を入れ替えたり、新たな調査の成果や新資料の発見などに応じて展示替えを行うなど、来館者を飽きさせない工夫が必要である。 常設展示を3つの時代のテーマ展示としたことで紹介できなかった時代や地域については、企画展示などで紹介していく。					

会計名 一般会計			歴史博物館開館等準備事業				担当部	市民活動部
款	項	目					担当課	文化観光課
10	6	14					担当係	歴史博物館
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	歴史・文化財					
		施策の内容	歴史博物館の整備					
	目的	刈谷の歴史や文化財について市民が学ぶことのできる歴史博物館を開館し、市内外の来場者に啓発促進の場を提供する。		主たる内容	○文化財資料及び備品等の移設 ○各種媒体への広告掲載 ○記念式典の開催 ○オープニングイベントの開催			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画					
			根拠法令	博物館法				
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度		
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> 文化財資料及び備品等の移設 広告物の作成 各種媒体への広告掲載 記念式典の開催 オープニングイベントの開催 		—
成果		歴史博物館開館に伴い、館内の整備と歴史博物館のPRを行い、記念式典とオープニングイベントを開催することにより、市内市外からの多くの来館者に刈谷市の歴史を伝える場を提供することができた。						
課題		工事の関係で文化財資料の移設期間が短く、開館間近までかかった。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標	来館者数（人）		—	—	9,823	—	—	
活動指標	各種媒体への広告掲載数（社）		—	—	28	—	—	
他市との比較検証	施設の開館は一時的な事業であり、他市との比較検証は困難である。							
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	19,334	0	合計 19,333,674 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 351,240 円	
		一般財源	0	0	19,334	0	需用費 2,234,433 円	
	職員人件費 ②		0	0	4,475	0	役務費 4,475,018 円	
	総事業費（①+②）		0	0	23,809	0	委託料 11,933,943 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0						

会計名			歴史博物館開館等準備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	14			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	ミュージアム機能・祭り伝承機能・アーカイブ機能・埋蔵文化財保存活用機能を一体にした施設を公開することにより、市民が郷土の歴史文化を知ることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	備品購入および開館記念式典・オープニングイベントは、競争入札で業者を選定することで、コストを削減しつつ最適な業者を選定することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民の財産である文化財を多数保存する施設であることから、市が主体となるべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	歴史博物館の開館をPRし、集客に繋げることで、郷土の歴史文化への興味を喚起することができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
事業は本年度で完了した。					

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	6	2						歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。		主たる内容	○保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を行う。 ○調査委員会の指導に基づき、小堤西池の水質水位の継続した調査を行う。 ○カキツバタ保護増殖のために池や東側丘陵地の除草や清掃等の業務を行う。 ○カキツバタ開花期における、警備や駐車場案内等の業務を行う。				
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画、第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 水位調査 除草、清掃作業 6日間 ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 16本 カキツバタ遺伝子調査 		<ul style="list-style-type: none"> 「小堤西池カキツバタ群落保存管理計画」の改定 保存対策調査委員会の開催 2回 「湿地サミット」の開催 水質調査 水位調査 除草、清掃作業 6日間 ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 17本 		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会の開催 2回 水質調査 水位調査 除草、清掃作業 6日間 丘陵地の樹木伐採 		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会の開催 2回 水質調査 水位調査 除草、清掃作業 6日間 丘陵地の樹木伐採 カキツバタ遺伝子調査 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 除草作業には地元「小堤西池のカキツバタを守る会」のほか、企業ボランティアをはじめ多くの市民が参加した。 カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出て、花の数も増えてきた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 池の水源となる東側丘陵地に、その地下水を吸い上げてしまう竹が増殖しているため、東側丘陵地の管理が課題となっている。 地球温暖化などの影響により、池及び東側丘陵地の環境が変化しつつあり、動植物の種類が減少しつつある。 							
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> 知立市の八橋のかきつばたは生育不良に陥っており、再生している最中である。 豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数（平成29年 延べ691人 冬季25日間程度） 							
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,934	7,817	6,937	15,330	合計	6,937,365 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	60,000 円	
		一般財源	5,934	7,817	6,937	15,330	旅費	5,100 円	
	職員人件費 ②		1,876	2,792	1,813	1,625	需用費	99,729 円	
	総事業費（①+②）		7,810	10,609	8,750	16,955	委託料	6,772,536 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	2			歴史博物館
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。 また、カキツバタは刈谷市の花で市民にも馴染みが深いことから、保護増殖を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	地元有志による守る会に日常管理を委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも最適な手段である。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	開花時期にはメディアにも取り上げられ、市の魅力発信に繋がっている。また、地元の守る会をはじめとする市民の保護への意識も向上している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護施策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。 より多くの人に国指定天然記念物を見学していただくとともに、環境保護活動の意識向上を図るため、豊かな自然環境が維持されていることを今後も広く啓発していく。 池の水源確保や外来種の増加に対しては、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議していく。					

会計名		依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	文化観光課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
10	6					2		歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市内外の来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。			主たる内容	○館内ガイド業務の実施 ○機器説明等 ○依佐美送信所関連資料の展示			
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成20年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・来館者数 39,159人 ・ボランティアガイド 123件 2,594人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・来館者数 31,930人 ・ボランティアガイド 114件 1,917人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・来館者数 29,267人 ・ボランティアガイド 120件 2,279人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・市内中学1年生見学 ・来館者数 30,000人 ・ボランティアガイド 120件 2,300人	
成果		・依佐美送信所竣工90周年記念展示会を開催し、来館者に依佐美送信所の歴史をより深く伝えることができた。 ・ガイドがあることで様々な目的の来館者に対応することができ、好評価を得ている。 ・複数のテレビ、広報紙等から取材の申し込みがあった。 ・ツアー客を含め多くの来館者を集め、刈谷の魅力のアピールに繋げることができた。							
課題		展示物が開館当初のまま、手を加えられていない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		ガイドボランティア会員数（人）		43	44	44	45	47	
成果指標		ガイド申込者数（人）		2,594	1,917	2,279	2,300	2,300	
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していないため、運営手法の比較が難しい。							
C 事業コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		145	100	884	111	合計	884,080 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	145,800 円	
		一般財源	145	100	884	111	委託料	738,280 円	
	職員人件費 ②		391	388	386	387			
	総事業費（①+②）		536	488	1,270	498			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	2			歴史博物館
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	「依佐美の鉄塔」が建っていた当時を記憶している市民も多く、送信所でどのようなことが行われていたのかを説明することで、刈谷の歴史に対する理解を深めることができる。ガイドボランティアと協働することで、地域からも愛される記念館運営となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	ガイドボランティアの会に委託することで、低いコストでガイド事業を実施している。ガイド事業の計画や反省もガイドボランティアの会自身が行っており、効率的な運営が行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	依佐美送信所記念館の施設管理は、指定管理者によって行われているが、ガイド事業は専門性が求められることから、指定管理者による運営は難しい。自主的に活動しているボランティアに対し、ガイドを委託する体制は有効である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	依佐美送信所記念館は、開館以来多くの賞を受賞している。そのため市外・県外からの来館者も多く、機械ではなく人による案内があることで刈谷の貴重な文化資源のPRが効果的に行われ、刈谷市の知名度向上に繋がっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> ガイドボランティア内では自発的に、知識や記憶の継承・資料化が行われており、市はサポートを行っていく。 平成31年度には開館から12年が経過し、ハード面の再整備も部分的に必要となってきている。 					

会計名			観光協会補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	民間団体が実施する観光振興のための活動を支援することで、市民サービスの向上及び市の活性化を図る。		主たる内容	○刈谷市観光協会が行う観光事業等への補助				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画、刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
		根拠法令							
		対象者	刈谷市観光協会	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業 D実績 O A 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営	
成果		・祭りやイベントの実施機関として大きな役割を果たし、地域内の交流観光の推進と活性化に寄与している。							
課題		・市と観光協会の役割分担を明確化する必要がある。 ・観光協会事務局を市観光係が兼務していることで、自主財源の確保等の取組みができず、補助金の削減が難しい。 ・観光協会は市内主要業者等で構成されているため、事業のスリム化を図ることが難しい。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	主催・共催事業来場者数（人）		381,422	400,900	386,365	475,000	480,000		
指標									
他市との比較検証	観光協会が主催・共催するイベントの数、規模が大きいことから、県内他市町村と比較して補助金額が突出して高くなっている。								
C事業 コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		124,368	121,314	114,772	111,602	合計 114,772,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 114,772,000円		
		一般財源	124,368	121,314	114,772	111,602			
	職員人件費②		4,689	5,428	3,086	2,709			
	総事業費（①+②）		129,057	126,742	117,858	114,311			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光協会補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	本市の観光振興を図るためには、市内業者や団体と連携を密にして推進する必要がある。観光協会は市内主要業者等で構成されており、その目的も総合的な観光振興によるまちづくりへの寄与とあるため、公益性も高いと判断していることから本事業は必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	観光事業は迅速な対応が求められる分野であり、観光協会の事務規定等が簡易であることから、行政が実施するよりも効率的な対応が可能となっている。また、観光協会は様々な団体から構成されているため、各種団体との連携が必要な場合に協力等が得られやすい。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	観光協会事務局を市観光係が兼務していることで、公平性及び公益性が担保されていることから、当該観光団体への補助は適正と考えている。また、総合計画及び観光推進基本計画にも明記されていることから妥当性は高いと判断している。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	総合計画及び観光推進基本計画に観光協会との連携は明記されている。また、当該団体を支援することで、各催事により交流観光が推進されている現状からも施策への貢献度は高い。	
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
	市や各種関連団体と観光協会との役割分担を明確にしながら、観光協会の機能の強化に取り組む。				

会計名 一般会計			刈谷駅前観光案内所整備事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
	施策の内容		「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷を訪れる観光客やビジネス客等への情報発信と刈谷駅周辺のまちづくりに寄与できる案内所機能の充実を図る。	主たる内容	○刈谷駅前観光案内所基本構想策定					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		_____		・刈谷駅前観光案内所基本構想策定		_____	
成果		・刈谷駅前に設置する観光案内所に求められる機能の整理をはじめ、整備コンセプトや整備・運営方法の検討等を行うことができた。							
課題		・刈谷駅周辺の関連施策と整合性を図りながら進めていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		刈谷駅前観光案内所整備進捗率（％）			—	—	20.0	—	—
活動指標									
他市との比較検証		刈谷駅周辺の特性を踏まえて推進する事業であるため、他市と比較できない。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	2,854	0	合計	2,853,900 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,853,900 円	
		一般財源	0	0	2,854	0			
	職員人件費 ②		0	0	3,086	0			
	総事業費（①+②）		0	0	5,940	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷駅前観光案内所整備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		普通	本事業は、総合計画に掲げられた刈谷駅周辺の賑わい、観光推進基本計画の案内所設置に基づき実施したものであるが、駅前の他施策との整合性も考慮する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	基本構想の策定にあたり、データを用いて的確に現状を把握するため、分析のノウハウと観光分野における高い専門性を有する業者に委託することは、市が直接実施する場合より、効率性が高い。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	観光案内所は、公共的な機能を有する施設であり、総合計画及び観光推進基本計画においても明記されていることから、市が主体的に実施すべきであり、妥当性が高い。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	観光案内所は、駅前の人が集積するエリアでの観光情報の発信や各種サービスの提供に関するものであるため、施策への貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
刈谷駅周辺の関連施策の動向を注視しつつ、観光案内所の位置付けや効果的な運営形態の考え方を整理して、推進する必要がある。					

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	各種保存団体が開催する歴史文化行事に対して補助することで、伝統文化の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。		主たる内容	○各種保存団体の行事開催に要する経費の補助 ＜対象団体＞ ・刈谷万燈保存会 ・野田雨乞笠おどり保存会 ・刈谷春祭保存継承委員会				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画		根拠法令				
	対象者	主たる内容欄※参照		事業期間	～				
	実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
				・刈谷万燈祭 開催日 7月29日・30日 来場者数 118,000人 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月27日 来場者数 650人		・大名行列・山車祭 開催日 5月3日 来場者数 44,000人 ・刈谷万燈祭 開催日 7月28日・29日 来場者数 55,000人 ※7月28日は台風で中止 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月26日 来場者数 600人		・刈谷万燈祭 開催日 7月27日・28日 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月25日	
		成果	・（万燈祭）市内外の他のイベントにも誘致されている現状から、刈谷市を代表する祭りとして知名度が向上している。 ・（共通）古くから伝わる行事を観光資源として支援することで、刈谷市の魅力の向上、伝統文化を継承することができる。						
課題		・（共通）団体の育成を促すとともに、協賛金等の自主財源の確保を指導していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		35.0	—	33.2	39.6	46.0	
活動指標									
他市との比較検証		刈谷市独自の祭事であるため、比較できない。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	5,534	10,740	5,534	合計 10,740,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 10,740,000 円		
		一般財源	0	5,534	10,740	5,534			
	職員人件費 ②		0	4,265	4,244	2,477			
	総事業費（①+②）		0	9,799	14,984	8,011			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	担い手や支援者の減少により、祭りが衰退傾向にあるため、祭り開催を支援することは、伝統文化の保存継承と後継者育成といった面で必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	本事業の目的達成のための支援規模が適正であるか、各保存会の補助金の支出内容を精査する必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市及び県の無形民俗文化財に指定されている祭りの保存継承のための補助は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	万燈祭や野田雨乞笠おどりは刈谷の伝統的な祭りであり、これらの祭りの開催支援は、総合計画にも明記している。また、祭りが継続することで、歴史的資源として活用できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
各保存会の育成や、協賛金などの自主財源のさらなる確保による資金面での自立を促し、市と一体となって伝統行事を継続していく必要がある。					

会計名			刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
2	1	2						観光係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	計画推進							
		基本施策	情報共有							
		施策の内容	広報・広聴の充実							
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を生かして市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。			主たる内容	○歴史文化PRブースの出展 市内外のイベント等で刈谷の歴史文化を紹介するPRブースを出展する。 ○刈谷城盛上げ隊の運営 市内外のイベント等へ参加出演する刈谷城盛上げ隊を運営する。 ○東吉野村交流事業 刈谷市民と東吉野村民が天誅組に関する史跡等を相互に訪問する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略、第2次刈谷市文化振興基本計画								
	根拠法令									
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成25年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・PRブース出展 ブース出展回数 8回 ・東吉野村ウォーキング開催 参加者数 26人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 34回		・PRブース出展 ブース出展回数 5回 ・刈谷市史跡めぐり開催 参加者数 11人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 27回		・PRブース出展 ブース出展回数 11回 ・東吉野村交流事業 東吉野村訪問 28人 刈谷市来訪 22人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 36回		・PRブース出展 ブース出展回数 5回 ・東吉野村交流事業 刈谷市来訪 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 35回 ・歴史街道・ものづくり街道 パンフレット作成 ・フォトスタンプラリー実施		
成果		・市内外のイベント等においてPRブースの出展や刈谷城盛上げ隊の出演により、刈谷市の魅力をPRできた。 ・奈良県東吉野村と天誅組関連史跡を巡り互いの交流を深めることができた。								
課題		・PRブースの出展や刈谷城盛上げ隊の出演の費用対効果の検証が難しい。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
活動指標	PRブース出展、刈谷城盛上げ隊出演回数（回）				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）				35.0	—	33.2	39.6	46.0	
他市との比較検証	本市の魅力に合わせた独自の取り組みであるため、他市と比較できない。									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		5,376	5,062	5,841	5,787	合計	5,840,579円		
	財源	特定財源	0	0	3	0	需用費	12,859円		
		一般財源	5,376	5,062	5,838	5,787	役務費	17,828円		
	職員人件費②		3,908	6,204	7,021	5,805	委託料	5,777,600円		
	総事業費（①+②）		9,284	11,266	12,862	11,592	負担金、補助及び交付金	32,292円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		保険料実費徴収金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
2	1	2			観光係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史文化に誇りを持ってもらい、地域の活性化を図る一助とする。 また、愛知県が武将観光を推進しており、本市においても盛上げ隊を活用し、地域資源のPRを推進していることから、県と市で一体的に取り組んでいる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	事業を委託することで職員の負担の軽減を図った。 また、盛上げ隊の隊員にボランティアを採用することでコストを抑えつつ、幅広い人材を確保することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	事業を通じて、総合計画にある「まちの歴史に対する認知度を高める必要」に応えることができる。 また、市が目指す持続可能な発展のためには定住促進が必要であるが、そのための取組である魅力発信は、市が主体的に実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	各種イベントにおいて、甲冑を着用した存在感の強い武将隊が、演舞等を披露しながら刈谷の魅力を発信できるので、訴求力が高く、施策への貢献度は高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
本市の歴史文化を幅広い人々にPRするとともに、刈谷市の魅力を発信していくため、今後も継続性をもって事業を実施する。					

会計名			民俗芸能啓発事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	6	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	本市固有の無形民俗文化財継承団体の活動を支援し、先人がこれまで培ってきた郷土の文化財の保存・伝承を図る。		主たる内容	指定無形民俗文化財の継承団体が愛知県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	無形民俗文化財保存団体		事業期間	平成22年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 各団体に披露や啓発の募集の情報提供 申請の事務補助 		<ul style="list-style-type: none"> 各団体に披露や啓発の募集の情報提供 申請の事務補助 9月17日（刈谷万燈保存会） 催事名：愛知県民俗芸能大会半田市大会 開催地：半田市 		<ul style="list-style-type: none"> 各団体に披露や啓発の募集の情報提供 申請の事務補助 8月20日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018 開催地：東京都 		<ul style="list-style-type: none"> 各団体に芸能大会等のイベントの情報提供 申請の事務補助 	
成果		ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018に出演する野田雨乞笠おどり保存会を支援することで、本市の無形民俗文化財を全国に向けて広く周知することができた。							
課題		予算に限りがあるため、複数の団体が民俗芸能大会に出演した場合に補助金を交付できない可能性がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		出演支援回数（団体）		0	1	1	1	1	
指標									
他市との比較検証		民俗芸能大会等への出演に際し、市町村から補助金の交付を受けていない団体が多いことから、本市は、他市に比べて手厚い支援ができています。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	300	42	300	合計	42,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	150	負担金、補助及び交付金	42,000 円	
		一般財源	0	300	42	150			
	職員人件費 ②		391	388	386	387			
	総事業費（①+②）		391	688	428	687			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	10			担当係	文化振興係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	十朋亭を市民に憩いの場として提供できるよう管理することで、文化の向上及び福祉の増進を図る。			主たる内容	○受付等業務委託 ○施設・設備修繕			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和47年度～		
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 	
成果		年代を問わず、四季を通じて会合、レクリエーション、休憩等で多くの方の利用に供し、住民の福祉の増進を図ることができた。							
課題		亀城公園再整備計画の中で、一体的に施設のあり方を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		提供した時間区分数（回）			922	845	751	900	950
指標									
他市との比較検証		施設の目的、周辺環境で類似の施設がなく比較が困難である。							
C 事業コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,853	5,090	5,240	5,668	合計	5,239,751 円	
	財源	特定財源	923	846	704	854	需用費	1,090,252 円	
		一般財源	3,930	4,244	4,536	4,814	役務費	49,420 円	
	職員人件費 ②		5,080	4,653	4,629	4,644	委託料	4,092,579 円	
	総事業費（①+②）		9,933	9,743	9,869	10,312	負担金、補助及び交付金	7,500 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		十朋亭使用料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	10					担当係	文化振興係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	十朋亭の補修を行うことにより、利用者に快適な施設空間の提供を図る。			主たる内容	○空調機修繕 ○畳表替え ○障子張替え ○襖張替え ○外部階段修繕			
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～平成30年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		・屋根瓦の修繕		・空調機修繕 ・畳表替え ・障子張替え ・襖張替え ・外部階段修繕		—	
成果		空調機の整備や畳の表替え等をしたことにより、利用者に快適な施設空間を図ることができた。							
課題		照明器具が古く現に不具合が生じているため、LED電球への変更について検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		修繕件数（件）			—	1	3	—	—
活動指標									
他市との比較検証		施設の目的、周辺環境で類似の施設がなく比較が困難である。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		0	200	1,898	0	合計	1,897,560円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,897,560円	
		一般財源	0	200	1,898	0			
	職員人件費②		0	1,163	1,543	0			
	総事業費（①+②）		0	1,363	3,441	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			収藏品管理システム整備事業				担当部	市民活動部
款	項	目					担当課	文化観光課
10	6	14					担当係	歴史博物館
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	歴史・文化財					
		施策の内容	歴史博物館の整備					
	目的	歴史博物館及び郷土資料館の収藏品についてデータベース化し、収藏品の適正かつ効率的な管理と活用につなげる。		主たる内容	歴史博物館と郷土資料館の収藏品を一元管理する収藏品管理システムを整備し、収藏品の管理や歴史博物館資料閲覧室の利用者に対する検索サービスを実施する。			
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
						・収藏品管理システムの整備		
成果		収藏品管理システムの整備を行い、職員及び来館者が収藏品の情報を容易に知ることができるようになった。						
課題		収藏品に関する情報を、随時更新する必要がある。						
指標名称（単位）				実績値		目標値		
活動指標		データの移行（％）		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
活動指標			—	—	100	—	—	
他市との比較検証	近隣にシステムを導入している市はないため比較できない。							
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	863	0	合計 863,172 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 102,960 円	
		一般財源	0	0	863	0	委託料 494,640 円	
	職員人件費 ②		0	0	1,458	0	使用料及び賃借料 32,400 円	
	総事業費（①+②）		0	0	2,321	0	備品購入費 233,172 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0						

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	6	2						歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○年3回、史跡めぐりの開催 ○郷土資料館における見学者案内 ○市内学校の総合的な学習に伴うガイドの派遣		
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が刈谷の文化財や歴史に触れ、学ぶことができる機会を提供するとともに、刈谷の歴史文化を案内するためのガイドボランティアを育成し、文化財の活用と歴史の啓発を図る。							
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 実績 O 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：城下町、東海道、高須コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：築地・恩田、鎌倉街道、小垣江コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：泉田、小山、元刈谷コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：城下町、元刈谷、重原コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは好評をいただき、史跡めぐりの参加者アンケート結果からは平均して8割以上から満足との評価を得た。 高齢者の社会参加の好ましい例として、内閣府より平成26年度ボランティア活動功労者表彰を受けた。 平成29年度にボランティア養成講座を実施したことで新たに7名の会員が加わり、会の活性化を図ることができた。 参加者の増加に伴い、駐車スペースの確保が課題となってきている。 							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		一般申込によるガイド依頼および小中学校の総合学習支援（件）		50	50	50	50	50	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		35.0	—	33.2	39.6	46.0	
他市との比較検証		にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 知立市観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 三州高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		182	181	182	182	合計	181,985 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,985 円	
		一般財源	182	181	182	182	委託料	172,000 円	
	職員人件費 ②		547	620	640	635			
	総事業費（①+②）		729	801	822	817			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			発掘調査報告書作成事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	平成9～12年度にかけて実施した中条遺跡の発掘調査について、調査年度毎に成果をまとめた報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般公開し、本市の歴史研究の一助とする。	主たる内容	発掘調査で検出した遺構や遺物に関する図版作成と報告書の印刷を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成27年度～平成30年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・平成11年度調査分図版作成 ・平成10年度調査分報告書印刷		・平成12年度調査分図版作成 ・平成11年度調査分報告書印刷		・平成12年度調査分報告書印刷			
成果		平成12年度調査分の報告書を作成した。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		報告書刊行数（冊）		1	1	1	—	—	
成果指標		報告書頒布部数（冊）		24	30	5			
他市との比較検証		安城市と豊田市では、発掘調査後数年の内に報告書を刊行している。 ・安城市の平成30年度報告書刊行数2冊 ・豊田市の平成30年度報告書刊行数5冊							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		4,284	4,285	947	0	合計	947,480円	
	財源	特定財源	24	69	7	0	需用費	947,480円	
		一般財源	4,260	4,216	940	0			
	職員人件費②		3,126	3,102	3,858	0			
	総事業費（①+②）		7,410	7,387	4,805	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			わんさか祭り花火打ち上げ事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	わんさか祭りの魅力向上を目指すとともに観光の振興を図る。	主たる内容	○メロディ花火を中心とした、花火打ち上げ経費					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市観光推進基本計画					
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月20日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月19日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月18日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月17日 発数：約7,000発（全体）	
成果		・同規模の近隣市町村と比較しても誇ることができる花火大会となっている。 ・花火を打上げることで、市内で開催されるイベントの中で最も集客力を持つイベントとなり、市外からも多くの人が集まる知名度が高い催事となっている。							
課題		・花火の内容が、会場内の限られた来場者のみしか見ることができない。 ・花火大会開催により、会場内での雑踏対策や会場周辺での交通渋滞や迷惑駐車が課題となっている。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	成果指標	来場者数（人）			153,000	156,000	157,500	156,500	156,500
指標									
他市との比較検証	近隣では、岡崎市、豊田市、碧南市（半田市と共催）、西尾市、みよし市等で花火大会を実施している。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		10,000	10,000	10,000	10,000	合計	10,000,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,000,000 円	
		一般財源	10,000	10,000	10,000	10,000			
	職員人件費 ②		1,563	1,551	1,543	1,935			
	総事業費（①+②）		11,563	11,551	11,543	11,935			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			広域観光推進事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	広域的な視点での観光施策の充実や地域のつながりを強め、地域活性化を目指す。	主たる内容	○西三河広域観光推進協議会の運営負担金 <内訳> ・観光情報発信システム保守料 ・スタンプラリー実施費用 ・西三河フォークジャンボリー出展費用						
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
		根拠法令	西三河広域観光推進協議会規約							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河9市1町の自治体が連携したイベントの実施		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・スタンプラリーの実施 ・西三河フォークジャンボリーへの出展		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・協議会総合ブースの西三河9市1町内イベントへの出展 ・定住自立圏観光パンフレット「るるぶきぬうら」改訂 ・定住自立圏連携イベントへの出展		
成果		・西三河広域観光推進協議会公式サイト「西三河ぐるっとナビ」で情報発信を継続したほか、新たにスタンプラリーの実施に取り組み、個人旅行者の自由な観光ルート案内や地域資源の再発見を促す機会の提供などを実施することで広域観光を推進した。								
課題		・情報発信サイトで一層のPRを行い、認知度の向上及び利用促進に取り組む必要がある。 ・西三河9市1町の連携は、発信力強化及び交流促進が目的であるが、現状では取り組みが情報発信サイト及びスタンプラリーのみに留まっており、連携によるメリットが生かし切れていない。このため、新たな展開のための新企画を立案し、実施する必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		ホームページアクセス数（件）		239,614	314,760	302,855	390,000	390,000		
指標										
他市との比較検証		近隣市町で共同で実施する事業であるため、他市と比較できない。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		200	353	418	4,959	合計	418,048円		
	財源	特定財源	0	0	0	2,040	負担金、補助及び交付金	418,048円		
		一般財源	200	353	418	2,919				
	職員人件費②		782	969	964	1,625				
	総事業費（①+②）		982	1,322	1,382	6,584				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			観光施設等管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
7	1	2					担当係	観光係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏の活性化を目指し、各観光施設の充実を図る。			主たる内容	○オアシス館刈谷の管理経費 ○万燈蔵等の管理経費				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		――		――		・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料 ・オアシス館シアターシステム更新 ・観光案内板修繕		・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料 ・情報検索端末パソコン等更新 ・観光案内板修繕 ・第二観光用倉庫フェンス撤去		
成果		・オアシス館刈谷のシアター映像を更新したことで、来館者に対し、刈谷市を含む衣浦定住自立圏域市町の観光情報を発信し、観光PRに取り組んだ。 ・観光案内板の内容を改修し、刈谷市へ訪れた人へのサービス向上に繋げた。								
課題		・オアシス館刈谷の展示内容が恒常化されており、刈谷ハイウェイオアシス内にあるという立地上の特性を生かしきれておらず、効果的な情報発信をしているとは言い難い。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度				
成果指標	オアシス館刈谷来場者数（人）	634,500	546,400	848,400	850,000	850,000				
活動指標										
他市との比較検証	倉庫や施設の規模等が異なるため、他市と単純に比較することは難しい。									
C 事業 コスト V	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳				
	事業費 ①	0	0	2,519	2,656	合計	2,518,910 円			
	財源	特定財源	0	0	292	300	需用費	359,441 円		
		一般財源	0	0	2,227	2,356	役務費	44,716 円		
	職員人件費 ②	0	0	278	310	委託料	447,120 円			
	総事業費（①+②）	0	0	2,797	2,966	使用料及び賃借料	1,667,633 円			
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称						
	30年度までの累積事業費	0		行政財産目的外使用料 光熱水費実費徴収金 鉄道高架下倉庫等賃借料						
	2年度以降の事業費見込	0								